

# お子様の未来に 速読・速聴・聡明さ という翼を！

育脳：学力偏差値・IQ・心理検査偏差値には「正の相関」があるので、ここでは頭の良さをIQで代表。  
勉強して学力が上がるのと同様、IQも先天的なものだけではなく練習によって高くなります。  
今では天才児を創るモンテッソーリ教育（当初は障害児用教育）同様、「育脳」は発達障害・学習障害支援を超えた  
**英才教育教材**になっています。

育脳教材：以下の2つが1セットです



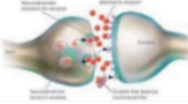
- ◎**ことばの学校**：朗読音声(0.5～10倍速)を聴きながら本を読み、語彙力・表現力・読解力を高めるワークを実施
- ◎**パズル**：試行錯誤の繰り返しで仮説検証思考力を養成。論理系パズル～数理系パズル(数学難問・図形)を実施

日本人の平均IQは105。東大生の平均IQは120と言われています。IQは学力や理解力の目安であり、知識量や経験を示すものではありませんが、勉強しなくとも直感的に解るレベルは以下の通り。

- IQ120～：中学レベル（幼稚園児でもIQ120以上の子は中学レベルの内容は直感的に理解します）
- IQ140～：高校レベル（「ギフテッド」はIQ145以上）
- IQ160～：大学レベル（IQ225のテレンス・タオは2歳で一次方程式を解き、9歳で大学レベルの数学をマスター / 現UCLA教授）

なお MENSA メンサ（IQ132以上・世界人口の上位2%）入会には入会テストを受けて合格するか、WAIS・WISC・心理検査SB5などの検査結果を提出して会の承認を受けます。  
（日本の知能検査はビネー式やウィスクラー式が一般的）

## ※ ウィスクラー式IQテストWISC（ウィスク）の4つの指標

指標（領域）	脳の関連する部位	当教室における育脳教材	
① 言語理解	IFG（言語・論理的思考力） Inferior Frontal Gyrus : 下前頭回	<b>ことばの学校、論理系パズル</b>	
② 知覚推理	IPL（視覚・空間認知能力） Inferior Parietal Lobule : 下頭頂小葉	<b>空間系パズル</b> （隠れている積み木はいくつ?等） ◎多次元空間をイメージ（ブラックホールの中心は11次元） <b>ルービックキューブ・ビルディングパズル</b> 等も有効	
③ ワーキングメモリー	海馬（脳の一次記憶領域） 他に前頭前野・頭頂皮質・大脳基底核・前帯状皮質・歯状回等	<b>ことばの学校、パズル全種</b> ワーキングメモリーについては、複数の脳の部位が連携して機能。対象となる情報（視覚、聴覚など）によって、関与する脳部位の組合せが異なります（海馬はマスト）。	
④ 処理速度	脳神経細胞ネットワーク におけるシナプス接合部※	<b>ことばの学校※</b>	 <p style="text-align: center;">シナプス接合部</p>

※脳神経細胞内部は電気信号伝達（メチャ速い）、ネットワーク接合部は化学物質伝達（かなり遅い）なのでネットワークのシナプス接合部の伝達を速め、脳の情報処理能力を高めて頭の回転を良くします（脳の可塑性を活用）

※ことばの学校は5倍速までは**指なぞり**で読み、5倍速以上では**段落指押さえ**、**ページ指押さえ**で読むと「速読訓練」になります。  
速聴主体なのに、「**ことばの学校**」は**速聴と速読**二つの超能力を併せもった「**天才**」を創ります。

大学入試選抜：①一般選抜、②学校推薦型選抜、③総合型選抜（旧AO等）の3つ

②と③の総合割合は、国公立20～30%、私立約60%です。③の総合型選抜は歴史が浅い分学力とは関係が薄いと誤解がありますが、大学に入って勉強していけるかどうかを判定するため、特に「地頭力」を見られるようになります。

※楽しい「ことばの学校」で学力偏差値が上がる（速聴速度5倍速で全員が偏差値60以上）のも①③④が鍛えられるから。  
**聴くだけの「ことばの学校」は楽（らく）して学力偏差値が上がる画期的アイテム**です。理系なら**パズル**も！

小学生で4倍速くらいまで行って、中学生になると辞めて教科学習に専念する生徒が多いのは残念（せっかく「頭が良くなってきている」のに...）。  
日本人の最高IQは188（太田三砂貴・琉球大学理学部在学中）で、彼は寄せて返す波を見て、頭の中でフーリエ変換を計算します。

※ 赤+緑=青の波を計算することを「合成」  
複雑な信号を単純な正弦波や余弦波に分解することを（青から赤と緑にすること）フーリエ変換と言います。

